

— 目 次 —

はじめに

第1章 これまでの湖岸植生帯の緊急保全対策の検討経緯	1-1
1.1 霞ヶ浦の湖岸植生帯の緊急保全対策検討の経緯	1-1
第2章 湖岸植生帯の緊急保全対策の考え方	2-1
2.1 緊急保全対策検討の背景	2-1
(1) 湖岸植生帯減退の状況	2-1
(2) 湖岸植生帯減退の要因	2-2
2.2 緊急保全対策の考え方	2-3
(1) 緊急保全対策の目的と再生イメージ	2-3
(2) 減退要因から考えられる有効な対策の検討	2-3
(3) 対策と構造タイプ	2-3
(4) 植生の復元手法	2-5
第3章 緊急保全対策工の整備	3-1
3.1 各地区の再生目標と採用工法の考え方	3-1
3.2 整備施設の一覧	3-4
3.3 設計条件の整理	3-5
(1) 外力	3-5
(2) 土質条件	3-5
(3) 地形条件：湖底勾配、設置水深	3-5
(4) 施設の配置計画について	3-5

第4章 モニタリング調査	4-1
4.1 モニタリング項目	4-1
4.2 仮説体系および仮説の評価視点毎のモニタリング結果	4-2
モニタリング調査結果の概要は資料編6.参照	
第5章 緊急保全対策の中間評価	5-1
5.1 評価の視点整理	5-1
5.2 知見のまとめ	5-2
(1) 生育場に関する知見	5-2
(2) 生物の生息・生育状況に関する知見	5-9
5.3 順応的管理の実施状況	5-14
(1) 沿川住民の参加による植栽および管理活動	5-14
(2) 沿川住民の参加による順応的管理活動	5-15
5.4 得られた主な知見の総括	5-16
5.5 評価と課題の抽出	5-18
第6章 今後の方針	6-1
6.1 ワンド、粗朶消波工に関する今後の方針	6-1
6.2 霞ヶ浦湖岸植生再生技術指針(案)の作成に向けて	6-2

おわりに